

# 07/9期中間決算説明会資料

07年5月14日

 富士製薬工業株式会社

FujiPharma

# 目次

- (1) 基本情報
- (2) 07年9月期中間決算概要
- (3) 07年9月期見通し
- (4) 中期経営計画について

# (1) 基本情報

## I. 会社概要(平成19年3月31日現在)

- 本店所在地 東京都千代田区紀尾井町3番19号
- 設立年月日 昭和40年4月1日
- 主要な事業内容 医療用医薬品の製造及び販売
- 資本金 16億1,695万円
- 株主数 1,756名
- 支店 札幌、仙台、東京、富山、名古屋、大阪、福岡
- 工場 富山市水橋辻ヶ堂1515番地
- 従業員 378名
- 役員 代表取締役社長 今井博文  
取締役 山崎由実子、下堀穂積、上出豊幸、  
岩井孝之、小沢伊弘、内田正行  
監査役 中村 稔(常勤)、三村藤明、佐藤 明

**＝経営理念＝** 富士製薬工業の土台となる基本的な指針、存在意義を示すもの

■医薬品を通じて社会に貢献する

人に尽くすことがわたしたちの使命、目的、幸せです。

■企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する

企業活動を通じて人材を育成することを大切にしています。

**＝ミッション＝** 理念に基づくわたしたちの約束、大切に考える考え・想い、目指す姿を示すもの

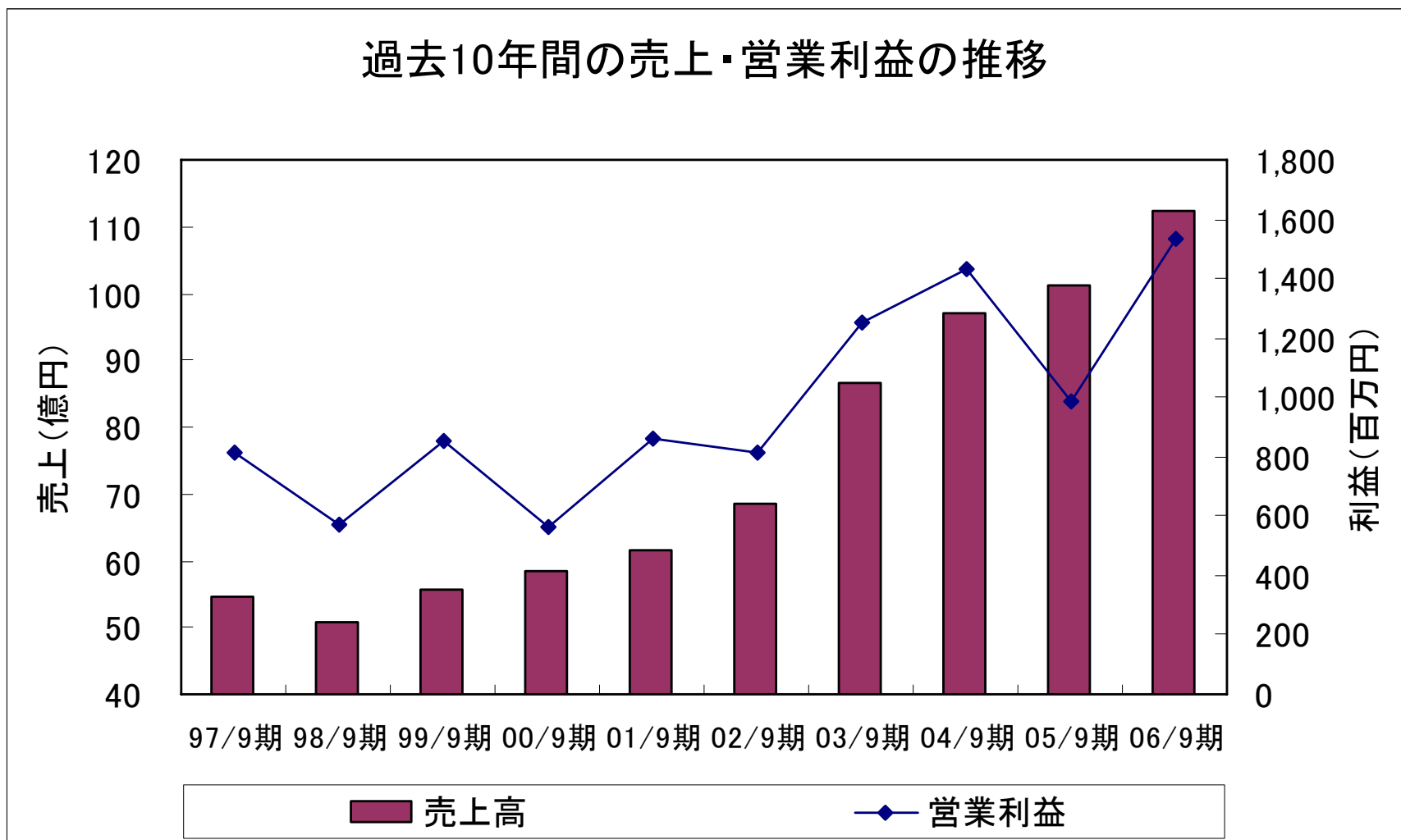
- 人々の痛みや障害の改善、克服に役立つ医薬品の開発、製造、販売を通して社会に貢献します。
- 自社の強み、勝てる戦いに集中し、独自の企業力の充実、発展、継続に努めます。
- お客様の立場を貫き、お客様と共に新たな価値を創る、お客様と相乗的に発展します。
- フェアでオープンな風土、学習と人間的成長、成長と発展の機会、社員満足を尊重します。

**＝行動指針＝** わたしたちが心がけること、優先すること、実践することを示すもの

- ◇お客様の要望を十分に理解するだけでなく、お客様にとってのお客様・患者様の要望も視野に入れて、お客様と共に新しい価値を考えます。
- ◇会社の仕組みの簡素化・効率化を推進、会社活動を行う目標、方法、手順を共有し、やるべきことだけに集中します。
- ◇ネットワーク形成を通じた外部資源の内部資源化、自己資源・パワーの最適な集中投入により、自己の強みの充実に努めます。
- ◇会社活動、自主的な取組みを通して、無くてはならない優位性、見事な独自性、高い専門性の充実、人間的成長をはかります。
- ◇人の生命に関与する誇り、人に尽くす・人に尽くせる喜び・幸せ、人へのありがたい・感謝の気持ちを大切にします。

### Ⅲ. 過去10年間の業績推移

過去10年間の売上・営業利益の推移



# (2) 2007年9月期中間決算概要

## I. 貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	06年9月期 中間期	06年9月期	07年9月期 中間期	前期末と の増減	
現金同等物	3,457	2,758	3,310	552	・・・営業CFの増加
その他の流動資産	7,362	7,923	8,163	241	・・・売掛金、在庫の増加
有形固定資産	4,341	4,127	4,035	-92	
その他の固定資産	1,785	2,182	2,160	-22	
資産合計	16,945	16,990	17,668	678	
流動負債	3,718	3,345	3,474	129	・・・仕入れ、未払消費税 の増加
固定負債	604	631	681	50	
純資産	12,623	13,013	13,513	500	・・・利益の増加、配当金 支払
負債純資産合計	16,945	16,990	17,668	678	

## Ⅱ. 損益計算書(要約)

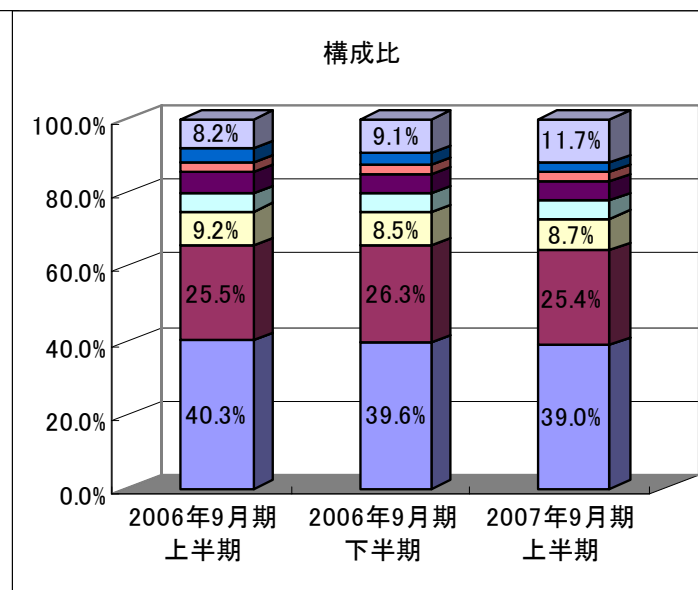
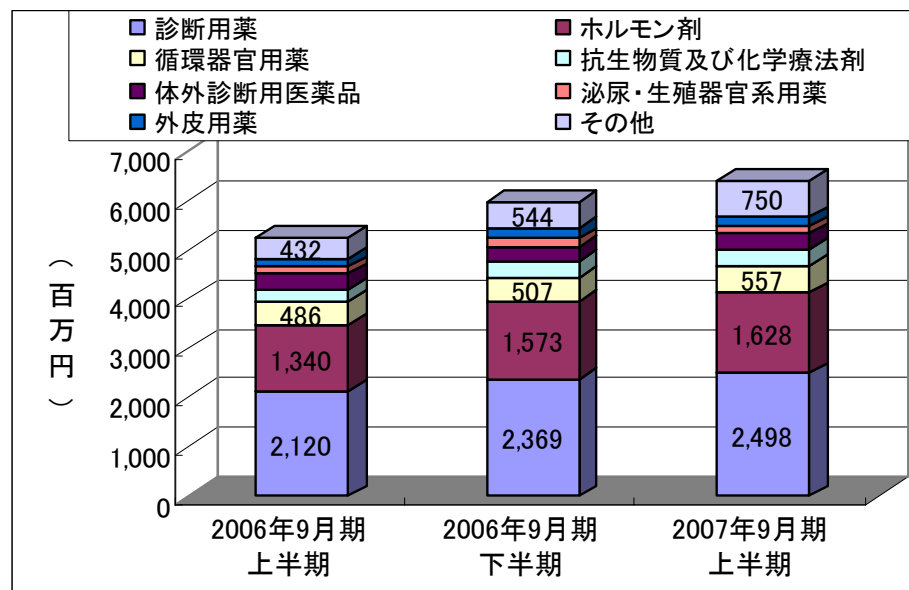
(単位:百万円)

科目	2006年 9月期 上半期	構成比	2006年 9月期 下半期	構成比	2007年 9月期 上半期	構成比	前年同期比	
							金額	比率
売上高	5,263	100.0%	5,977	100.0%	6,410	100.0%	1,147	21.8%
売上総利益	2,233	42.4%	2,593	43.4%	2,880	44.9%	647	29.0%
販管費	1,540	29.3%	1,753	29.3%	1,826	28.5%	286	18.6%
内研究開発費	293	5.6%	309	5.2%	339	5.3%	46	15.7%
内その他販管費	1,247	23.7%	1,444	24.2%	1,487	23.2%	240	19.2%
営業利益	693	13.2%	839	14.0%	1,053	16.4%	360	52.1%
営業外収益	23	0.4%	11	0.2%	9	0.1%	-14	-
営業外費用	6	0.1%	5	0.1%	4	0.1%	-2	-
経常利益	709	13.5%	847	14.2%	1,058	16.5%	349	49.2%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-0	-
特別損失	25	0.5%	76	1.3%	50	0.8%	25	-
税引前当期純利益	684	13.0%	770	12.9%	1,008	15.7%	324	47.3%
税金等	255	4.9%	283	4.7%	413	6.4%	158	61.7%
当期純利益	429	8.2%	486	8.1%	594	9.3%	165	38.6%

# Ⅲ. 薬効分類別売上高

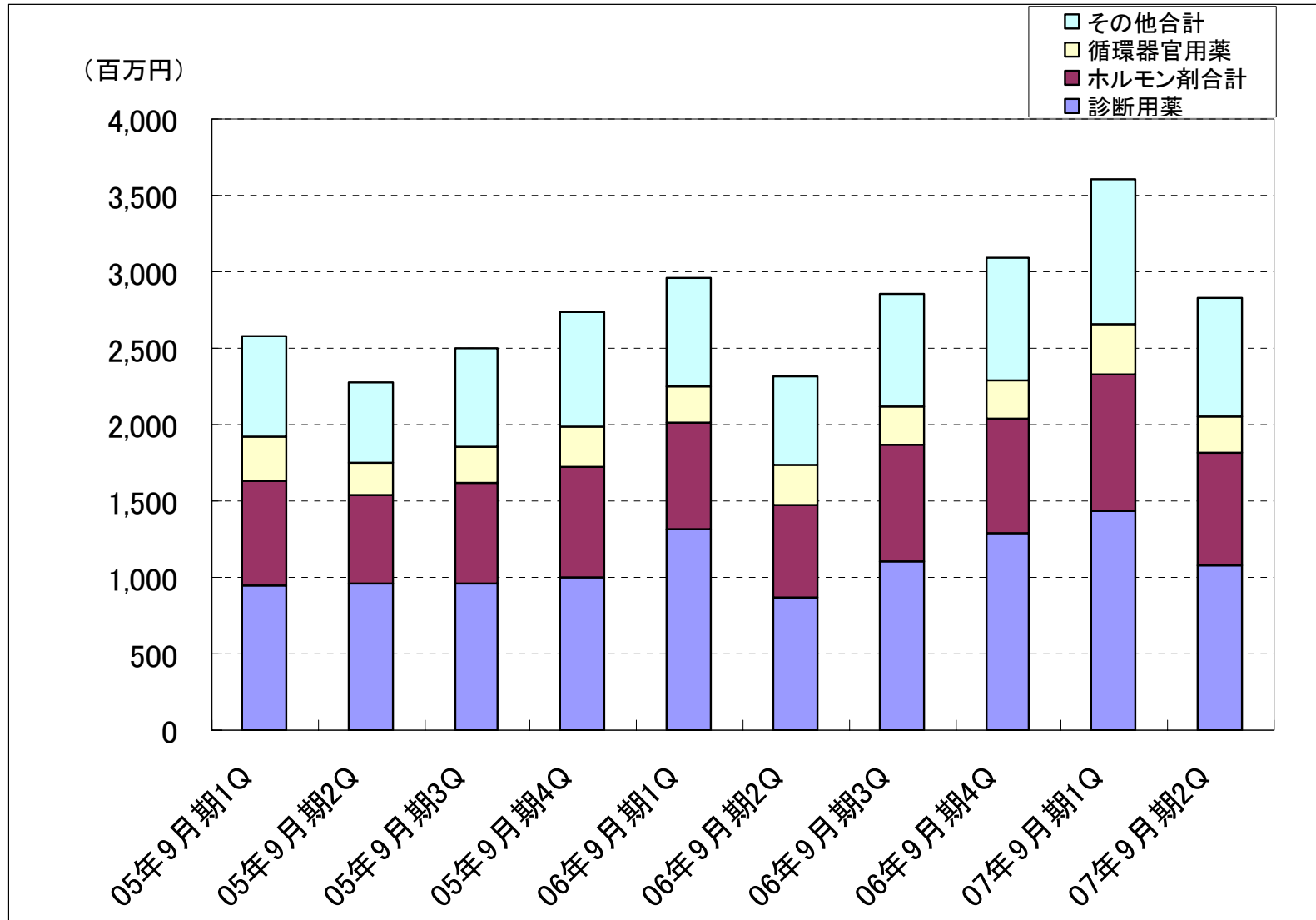
(単位:百万円)

薬効分類	2006年9月期 上半期		2006年9月期 下半期		2007年9月期 上半期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
診断用薬	2,120	40.3%	2,369	39.6%	2,498	39.0%
ホルモン剤	1,340	25.5%	1,573	26.3%	1,628	25.4%
循環器官用薬	486	9.2%	507	8.5%	557	8.7%
抗生物質及び化学療法剤	264	5.0%	303	5.1%	314	4.9%
体外診断用医薬品	291	5.5%	306	5.1%	322	5.0%
泌尿・生殖器官系用薬	148	2.8%	160	2.7%	148	2.3%
外皮用薬	182	3.5%	214	3.6%	192	3.0%
その他	432	8.2%	544	9.1%	750	11.7%
合計	5,263	100.0%	5,977	100.0%	6,411	100.0%





# IV. 四半期ごとの売上実績



# V. 主要製品売上高

(単位: 百万円)

順位	薬効分類	製品名	売上高				
			06/9期 上半期	06/9期 下半期	07/9期 上半期	前年 同期比	前半期比
1	診断用薬	オイパ <sup>o</sup> ロミン	1,556	1,787	1,887	21.3%	5.6%
2	診断用薬	イオパ <sup>o</sup> ーク	404	386	437	8.0%	13.1%
3	循環器官用薬	アリプロスト	399	396	419	5.0%	5.8%
4	ホルモン剤	HMGフジセイヤク	256	306	396	54.8%	29.4%
5	診断用薬	注射用グルカゴンFS	161	196	174	8.3%	▲11.2%
6	ホルモン剤	フォルルモンP注	111	130	163	46.7%	25.9%
7	ホルモン剤	注射用ソル・メルコート	110	140	159	45.1%	13.5%
8	その他	マスキュレート静注用	85	101	152	78.5%	51.2%
9	ホルモン剤	ブセレキュア	123	140	137	11.5%	▲1.8%
10	ホルモン剤	デキサート注射液	99	122	123	24.2%	0.7%
上位10位までの合計			3,305	3,705	4,049	22.5%	9.3%
全売上に占める比率			62.8%	62.0%	63.2%		

主な変化: イオパ<sup>o</sup>ーク(造影剤)、フォルルモンP注(不妊治療剤)がランクアップ。

マスキュレート静注用(筋弛緩剤)が初ランクイン。

# VI. キャッシュ・フロー計算書(抜粋)

(単位:百万円)

項目	06年9月期 中間期	06年9月期	07年9月期 中間期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
【抜粋】税引前当期純利益	684	1,455	1,009
減価償却費	253	576	273
売上債権の増加額	114	▲ 892	▲ 132
棚卸資産の増加額	▲ 209	▲ 309	▲ 208
仕入債務の増加額	267	363	179
営業活動によるキャッシュ・フロー	604	767	802
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
【抜粋】有価証券の取得による支出	—	▲ 499	▲ 100
有価証券の売却による収入	—	—	600
有形固定資産の取得等による支出	▲ 914	▲ 1,333	▲ 149
無形固定資産の取得等による支出	▲ 5	▲ 486	▲ 1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,593	▲ 2,364	339
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
【抜粋】自己株式の売却による収入	1,345	1,345	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,762	1,172	▲ 90
IV 現金及び現金同等物の増減額	773	▲ 425	1,051
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,683	2,683	2,258
VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,457	2,258	3,310

## VII. 1株当たり指標と配当性向

### 1株当たり指標

(単位: 円)

決算期	06/9期 中間期	06/9期	07/9期 中間期
1株当たり中間(当期)純利益	35.87	73.78	46.22
1株当たり配当金	7.00	14.00	7.00
1株当たり純資産	980.80	1,011.12	1,049.94

(注) 1. 1株当たり中間(当期)純利益の株式数は、期中平均株式数による。

2. 1株当たり純資産の株式数は、期末株式数による。

3. 当期の期中平均株式数及び期末株式数は、自己株式数を控除した株式数。

### 配当性向

決算期	06/9期 中間期	06/9期	07/9期 中間期
配当性向	19.5%	19.0%	15.1%

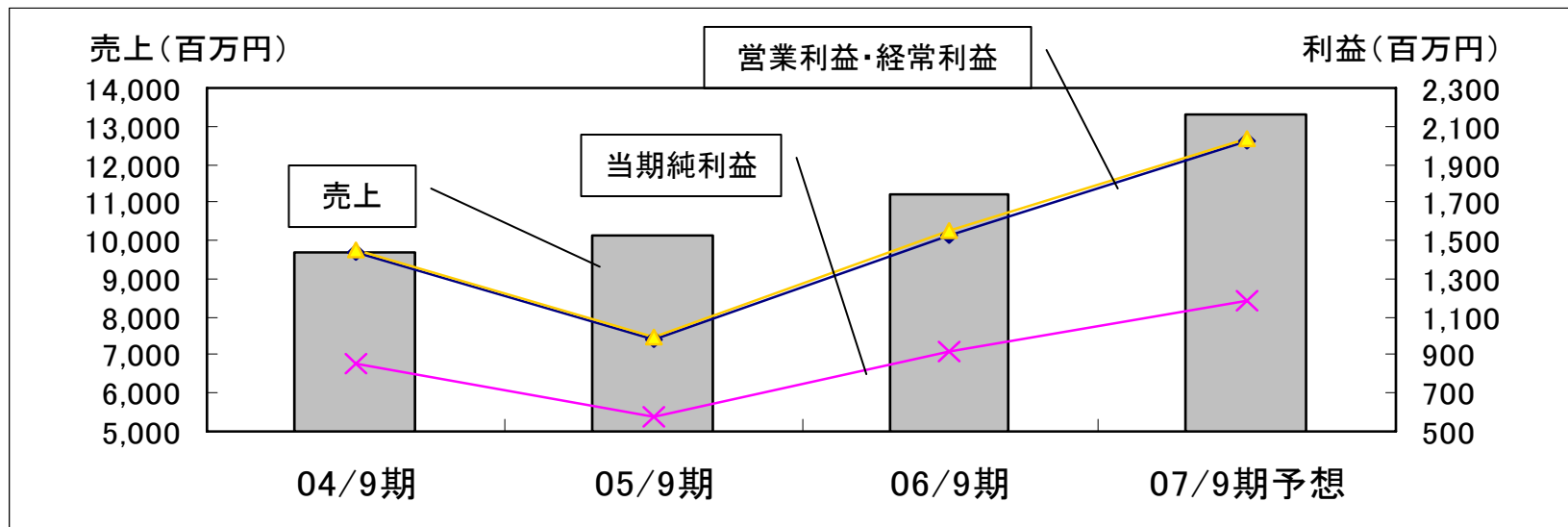
(注) 配当性向は1株当たり配当金を1株当たり中間(当期)純利益で除して計算

# (3) 2007年9月期見通し

## I. 業績予想

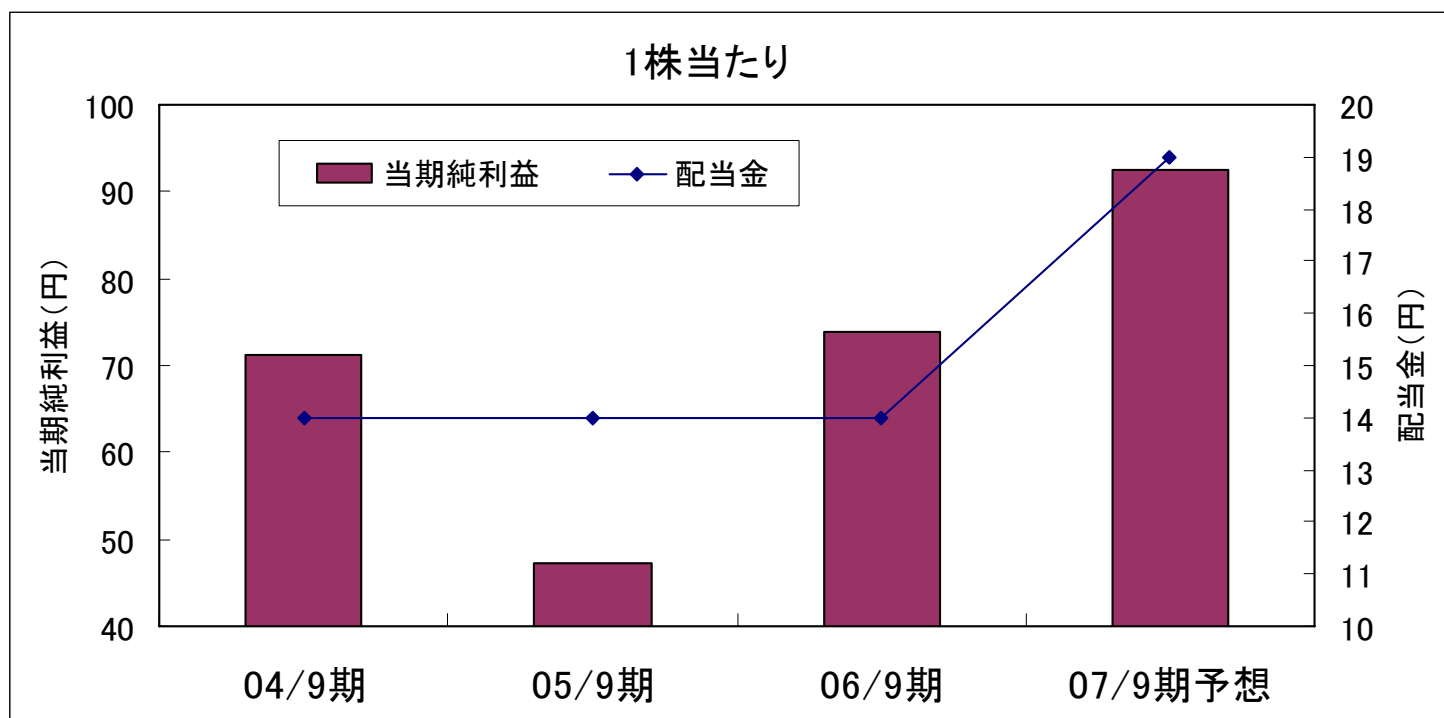
(単位: 百万円)

科目	2007年9月期 予想(修正後)	2007年9月期 予想(修正前)	2006年9月期 実績	前年同期比 増減		2007年9月期 下半期予想	2007年9月期 上半期実績
				金額	比率		
売上高	13,300	12,680	11,240	2,060	18.3%	6,890	6,410
営業利益	2,020	1,710	1,532	488	31.8%	967	1,053
経常利益	2,030	1,720	1,556	474	30.5%	972	1,058
当期純利益	1,190	1,060	915	275	29.9%	596	594
研究開発費	837	842	601	236	39.3%	498	339



## Ⅱ. 1株当たり利益及び配当予想

決算期	07年9月期 予想(修正後)	07年9月期 予想(修正前)	06/年9月期 実績
当期純利益	92円46銭	82円36銭	73円78銭
配当金	19円	14円	14円
配当性向	20.5%	17.0%	19.0%



# (4) 中期経営計画について

## I. 環境変化と経営課題

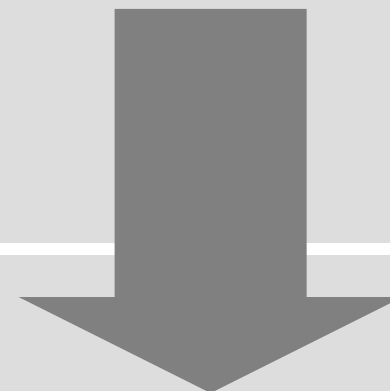
### <GE薬市場環境変化>

- DPC対象病院:08年新たに371  
⇒合計731、病床割合32%
- 医療保険適用範囲の見直し  
⇒GE薬平均価格を基準に保険給付
- 07年会社法制再構築の仕上げ  
⇒産業全体としての合理化

### <当社の経営課題>

- 積極的、重点的、効率的な事業投資
- 競争優位な生存領域の確保、拡大
- 急成長路線への大転換

事業機会の増大！



成長路線へ  
打って出る！

## Ⅱ．中期～2010年基本方針

### Ⅰ．既存コア事業の拡大

「生存領域で抜きん出る、2010年営業収益倍増」

- 得意領域に経営資源を集中投入
- 積極的なアライアンス、戦略品の獲得
- 戦略品を中心に最適な事業運営体制づくり

### Ⅱ．新規事業機会の具体化

「2011年から打って出る、新たな成長基盤づくり」

- 積極的なM&A、新たな事業領域の獲得
- 独自事業を軸にした2011～新経営計画の組立て
- 新たな独自中長期開発パイプラインの充実



# Ⅲ. 中期基本戦略:「生存領域で抜きん出る」

中期的な課題

効率的、重点的  
事業投資  
総額50億円

競争優位な生存領域  
拡大

総資産収益率改善

基本戦略/マスタープラン

◇女性ホルモン剤  
新薬/月経困難症治療薬の製造販売権取得  
長期収載品目承継  
ホルモン剤/ハザード対応工場新設  
◇注射剤  
DDS技術導入  
プレフィルドシリンジ新製造ライン導入  
急性期入院医療用GE薬品揃え

◇産婦人科←女性ホルモン剤  
GE薬+長期収載品目+新薬の相互補完  
モデル構築  
◇急性期入院←注射剤  
MRI用造影剤、抗がん剤、制吐剤、  
抗菌剤等のGE薬注射剤市場獲得

2010年ROA14.5%(2006年10%)

# IV. 2011～経営ビジョン

独自の医薬品ビジネスでもっと大きく社会に貢献したい！

## ●女性医療ビジネスの充実

産婦人科から

女性医療一般にシフト

- 産婦人科向け新薬ビジネス
- 産婦人科向けジェネリック  
& 診断薬ビジネス
- 女性内科ビジネス

## ●急性期医療ビジネスの拡大

注射剤を軸に

急性期医療の治療領域を拡大

- バイオ医薬品ビジネス
- キット製剤、DDS製剤ビジネス
- 抗菌剤、抗がん剤ジェネリック  
ビジネス
- 診断用薬ビジネス

## ●新たなGE薬ビジネスの構築

M&Aを軸に

新たな診療領域を獲得

## V. 数值計画

売上高	06/9実績 11,240	<07/9前回予想> 今回修正 <12,680> 13,300	<10/9前回予想> 今回修正 <17,600> 18,500	百万円
経常利益	1,556	<1,720> 2,030	<2,840> 3,100	百万円
EPS	73.78	<82.36> 92.46	<137.00> 149.00	
ROA	10%	<10%> 11.5%	<14%> 14.5%	

本日は、お忙しい中、ご来場頂き、誠にありがとうございました。



## 富士製薬工業株式会社

＜お問い合わせ先＞

管理部マネージャー 上出 豊幸

東京都千代田区紀尾井町3番19号

TEL : 03-3556-3344

FAX : 03-3556-4455

Email: [toyoyuki\\_kamide@fujipharma.jp](mailto:toyoyuki_kamide@fujipharma.jp)

URL : <http://www.fujipharma.jp>